

## 特記仕様書

工事名称 令和7年度 第98号  
能登川地区配水管バイパス（5工区）工事  
工事場所 東近江市北須田町地先

### （共通事項）

- 1 本工事の施工に当たっては、「東近江市水道工事標準仕様書」（以下「標準仕様書」という。）、「滋賀県一般土木工事共通仕様書・工事必携・施工管理基準」（以下「共通仕様書」という。）、特記仕様書（以下「本仕様書」という。）及び設計書並びに監督員の指示に基づき施工しなければならない。  
なお、重複する事項については、本仕様書、標準仕様書、共通仕様書の順を優先とする。
- 2 設計書及び本仕様書に記載されていない事項でも、工事実施上当然必要な軽微なことについては、受注者の負担において施工しなければならない。
- 3 工事の簡易な部分については、監督員が承諾した場合は、共通仕様書及び本仕様書によらないことができる。
- 4 鉛の水質基準改正に伴い、銅合金（青銅鋳物、黄銅鋳物及び黄銅棒物）製品（継手類、止水栓類、分水栓類及び弁類）は、新基準適合品を使用すること。

### （総則）

- 1 現場代理人、監理技術者及び主任技術者
  - (1) 受注者は、本工事に当たり現場代理人及び主任技術者を定め、発注者に届出書を提出して承諾を得なければならない。また、必要に応じて監理技術者を定め、届出を行うこと。  
なお、現場代理人は必ず現場に常駐し、他の現場との兼任は認めない。
  - (2) 本工事の現場代理人、監理技術者及び主任技術者は、本工事と同等の工法での相当の経験を有するものでなければならない。
- 2 配管主任技術者及び配管技能者  
受注者は、本工事に当たり配管主任技術者及び配管技能者を定め、施工前に資格証明書及び経歴書を発注者に提出して承認を得なければならない。
  - (1) 配管主任技術者
    - ア 配管主任技術者は、建設業法の規定に基づく管工事施工管理技士又はそれと同等の資格を有する者で、公共機関等の行うダクタイル鋳鉄管継手

(本工事で布設する主たる継手形式にかかるもの) の配管技能講習を修了した者とし、また、給水装置の施工を伴う場合には、水道法第25条の4に定める給水装置工事主任技術者資格を有する者とし、これを確認できるものを契約後おおむね1箇月以内に監督員に提出しなければならない。

イ 配管工事の現場に常駐し、配管技能者を指導し、円滑かつ確実な配管工事を行うものとする。

#### (2) 配管技能者

公共機関の認める配管技能試験に合格した者又はそれと同等以上の資格を有する者

### 3 諸法令及び諸法規の遵守

工事の施工に当たっては、「建築工事公衆災害防止対策事項」及び関係諸法令を遵守して施工すること。

### 4 工事中の行為制限

(1) 本工事の施工に当たり第三者に損害を与えた場合は、受注者により賠償又は補償に誠意をもって対応しなければならない。

(2) 建物周辺部等における工事に当たっては、深夜及び早朝はもちろんのこと、昼間といえども騒音を防止すること。

(3) 受注者は、工事使用車両（資材等搬入車両含む。）が、エンジンを動かしたまま長時間駐停車しないよう指導しなければならない。

(4) 工事の施工に当たり定められた取壊し部以外の構造物及び立木を損傷した場合は、受注者の負担で修復処理を行わなければならない。

(5) 工事中周辺の土地への踏み入りは、必ず所有者の承諾を得ること。また、踏み入りは最小限に留め、万一紛争が生じた場合は、その処理に当たっては、誠意を持って対処すること。

なお、復旧に要する費用及び補償については、受注者の負担とする。

### 5 建設廃材処分

特定建設資材	施設の名称	所在地	受入時間
アスファルト塊(掘削)	サタ山善(株)	東近江市蛇溝町	8時～17時

上表については積算上の条件明示であり、再資源化施設を指定するものではない。

なお、受注者の提示する施設と異なる場合においても設計変更の対象としない。ただし、現場条件や数量の変更等、受注者の責めによるものでない事項に

についてはこの限りではない。また、処分の状況を証するため次の資料を提出すること。

- (1) 運搬業者及び処理場との契約書の写し
- (2) 処分状況の写真
- (3) 再生資源利用（実施）書及び再生資源利用促進（実施）書

## 6 建設発生土処分

建設発生土については、以下に掲げるいずれかの処分地又は受入地に建設発生土を運搬し、処分しなければならない。

産業廃棄物等の処分許可を受けた業者が管理運営する処分地

建設発生土の再利用を目的とする受入地

建設発生土の種類	施設の名称	所在地	受入時間
残土	(株)竹山建設	愛知郡愛荘町	8時～17時

上表については積算上の条件明示であり、再資源化施設を指定するものではない。

なお、受注者の提示する施設と異なる場合においても設計変更の対象としない。ただし、現場条件や数量の変更等、受注者の責めによるものでない事項についてはこの限りではない。

建設発生土の再利用を目的とした受入地との調整を要する場合は、受注者同士で相互連絡調整を密に行うこと。

建設発生土を受入地に搬入する際は、事前に建設発生土搬入計画書等を作成し発注者に提出すること。また、処分の状況を証するため次の資料を提出すること。

- (1) 運搬業者及び処理場との契約書の写し
- (2) 処分状況の写真
- (3) 発生土等調書（実績）、再生資源利用（実施）書及び再生資源利用促進（実施）書

## 7 工事現場管理

- (1) 災害発生時においては、第三者及び作業員の人命の安全確保を全てに優先させるものとする。
- (2) 受注者は、使用人等に適時、安全対策、環境対策、衛生管理及び地域住民に対する対応の指導及び教育を行うとともに、工事が適正に遂行されるように管理及び監督しなければならない。
- (3) 受注者は、受注者の負担と責任において現場事務所及びトイレを設置し、

快適な職場を形成するとともに、現場周辺の美装化に努めるものとする。

- (4) 工事期間中は、工事現場の巡視、点検、連絡調整及び工事区域内の監視を行い、毎日の安全確保に努めなければならない。
- (5) 掘削部分の転圧は入念に行い、契約不適合責任期間中は仮復旧部分のパトロールを施工者で行い、危険箇所を補修するとともに、監督員から補修請求があった場合も速やかに行わなければならない。
- (6) 悪天候で工事を中断する場合は、監督員に連絡を行うこと。
- (7) バックホウを使用する場合は、排出ガス対策型及び低騒音型のバックホウを使用するものとする。

## 8 施工管理（品質管理試験）

- (1) 使用材料について、事前に使用承認願いを提出し、監督員の承認を受けなければならない。
- (2) 埋戻し工、路盤工及びアスファルト舗装工における施工管理基準の測定基準について次表のとおりとする。また、測定の成果を確認できるよう、試験箇所にて全数写真撮影するものとする。

工種	試験項目	試験頻度
埋戻し工	現場密度試験	延長250mごとに1回(3個) 延長250m未満は1回(3個)
下層路盤工	現場密度試験	500m <sup>2</sup> ごとに1回(3個) 500m <sup>2</sup> 未満は1回(3個)
上層路盤工	現場密度試験	500m <sup>2</sup> ごとに1回(3個) 500m <sup>2</sup> 未満は1回(3個)
アスファルト舗装工 (表層)	現場密度(コア)	500m <sup>2</sup> ごとに1箇所
	温度測定	1日4回 100t未満は1日2回(午前・午後)

## 9 交通安全管理

- (1) 受注者は、工事の施工に先立ち道路使用の許可を受けること。
- (2) 標識類及び防護柵の安全施設類については、現場条件に応じて設置するほか、道路管理者及び所轄警察署と打合せを行い実施するものとする。特に、夜間においては工事灯を設置し、事故防止に努めなければならない。
- (3) 通行止めによる施工箇所については、う回路、工事期間、受注者名及び施工主体名、道路使用許可条件に付された内容を明示し、特に、緊急連絡体制

や夜間照明施設の保安体制を監督員に提出のこと。

(4) 工事区間については、有能な交通整理員を配置し、事故防止に努めなければならない。

(5) 交通整理員については1日2人計上しているが、道路管理者及び所轄警察署の打合せ結果により変更が生じた場合や条件変更及び受注者にて特に必要と認めた場合は、その対策等について設計図書に関して監督員と協議するものとし、設計変更の対象とする。また、施工に当たり必要とした交通誘導員総人数が積算総人数に満たない場合は、必要とした交通誘導員総人数で積算を行うものとし、設計変更の対象とする。

なお、条件変更等が無く、設計図書に関して監督員と特に協議がない場合において、必要とした交通誘導員総人数が積算総人数を超える場合については、設計変更の対象としない。

(6) 工事箇所は、その日の内に全てを埋め戻し、夜間を開放するものとする。

(7) 工事区間は、通学路及び生活道路であるため、歩行者及び自転車の通行について安全に十分配慮すること。

(8) 受注者は、ダンプトラック等による過積載の防止に留意するとともに、過積載と疑わしい車両を現場において確認したときは、受注者の責任において速やかに改善すること。

## 10 関連工事及び近接工事

(1) 下水道工事等の他工事と併行作業となる場合、現場代理人は本工事との調整を十分に行うこと。

(2) 本工事区間内に地下埋設物がある場合は、ガス管、N T Tケーブル、下水道管、上水道管及び電気ケーブルの埋設位置の事前調査を行い、施工時は管理者の立会いを仰ぎながら十分に注意を払い作業を進めること。

## 11 事前調査

(1) 受注者は、設計図書の照査を速やかに行い、予想される地下埋設物及び既設構造物は管理者と現地立会いを行い、保安対策について十分打合せをし、事故の発生を防止すること。

なお、受注者の責めにより地下埋設物等に損害を与えた場合は、速やかに監督員に報告するとともに関係機関に連絡し、応急処置をとり、受注者の負担によりこれを修復しなければならない。

(2) 受注者は、工事施工に当たり損傷を受けるおそれのある用地境界杭等は、関係者立会いの上控杭を設け、写真等により保存するものとし、障害となる杭等の設置換え、移設及び復元を含めて、その責任を負わなければならな

い。

- (3) 受注者は、本工事の施工に先立ち、工事により影響が予想される工作物（ブロック塀等）について、所有者の立会いの下に現地調査を実施しなければならない。

## 12 住民等への対応

- (1) 受注者は、関係機関及び地域住民との施工上必要な交渉を自らの責任において行うものとする。
- (2) 受注者は、工事の施工に当たり地域住民との間に紛争が生じないように努め、地元関係者等から工事の施工に関して苦情があった場合は、誠意をもってその解決に当たらなければならぬ。

## 13 水圧試験

ダクタイル鋳鉄管水圧試験は、管洗浄後テストポンプにより本設は24時間（1.0メガパスカルにて1時間水圧保持していることを監督員が確認した後、0.75メガパスカルにて23時間）、仮設は0.75メガパスカルを1時間とし、水圧が静止した状態であることをもって合格とする。また、試験は記録紙に記録し、監督員の確認を要するものとする。

ポリエチレン管水圧試験は、最後のE F接合終了後、冷却時間を置き、1時間以上経過してから管路の水圧を1.3メガパスカルにて5分間放置、5分後再度1.3メガパスカルに加圧し、水圧を0.75メガパスカルまで抜圧して24時間0.5メガパスカル以上水圧を保持した状態であることをもって合格とする。また、試験は記録紙に記録し、監督員の確認を要するものとする。

また不断水分岐の水圧試験は、水圧1.00メガパスカルを10分間保持し、漏水が無いか確認を行う。

## 14 しゅん工図

工事の完了に伴いしゅん工図を提出するものとする。

## 15 工期内検査

工期内に検査を行うので契約工期完了の日から3週間前までに完了書類を担当課まで提出のこと。

## 16 工事カルテ作成及び登録

受注者は、受注時及び完了時において工事請負代金額が500万円以上の工事について、工事実績情報サービス（C O R I N S）に基づき、「工事カルテ」を作成し、監督員に提出しなければならない。ただし、工事請負代金額500万円以上2,500万円未満の工事については、受注及び訂正時のみ登録するものとする。

- (1) 受注時登録データの提出期限は、契約締結後10日以内とする。
- (2) 完了時登録データの提出期限は、工事完了後10日以内とする。
- (3) 施工中に受注時登録データの内容に変更があった場合は、変更があった日から10日以内に変更データを提出しなければならない。

## 17 後片づけ

受注者は、工事の完成に際して、その責任と費用負担において、一切の機器、余剰資材及び残骸を撤去し、現場を掃除するものとする。

## 18 石綿セメント管の取扱いについて

### (1) 一般事項

ア 工事に伴って撤去の生じる廃棄物（石綿セメント管等）は、受注者の責任で適正に処理されなければならない。

イ 受注者が廃棄物（石綿セメント管等）を保管及び運搬又は処分する場合には、処分基準に従い廃棄物の飛散及び流出を防止し、生活環境の保全に努めなければならない。

ウ 受注者が処理をしない場合は、次の事項に注意し、許可業者にその処理を適正に委託しなければならない。

（ア）産業廃棄物の処理は、受注者が収集運搬業者と直接契約を締結すること。

（イ）委託しようとする産業廃棄物の処理が、その事業範囲に含まれていることを必ず許可証等により確認すること。

（ウ）相当量の産業廃棄物を委託する場合には、委託する処理業者が適切な許可を有することのみでなく、運搬資材の種類、数及び処理施設の能力や最終処分場の残存容量を調査の上、処理業者が委託する産業廃棄物を実際処理できる能力を有していることを確認すること。

（エ）委託した処理業者自らが処理を実際に行っているか否かをマニフェスト等により確認すること。

（オ）工事中に出てきた石綿管について切断する場合は、石綿カッターを使用すること。

### (2) 防護服又は作業服

全身を覆うつなぎ服とし、粉じんが付着しにくい生地のものとし、また、フード付のものとしポケットは設けないものとする。

### (3) 呼吸用保護具

型式国家検定に合格した防じんで全面形のものが望ましい。

## 19 東近江市の発注する建設工事等における暴力団員等による不当介入の排除に

について次のとおりとする。（「不当介入に関する通報制度」の徹底について）

- (1) 受注者は、暴力団員等（暴力団の構成員及び暴力団関係者、その他市発注工事等に対して不当介入をしようとする全ての者をいう。）による不当介入（不当な要求又は業務の妨害）を受けた場合は、断固としてこれを拒否するとともに、不当介入があった時点で速やかに警察に通報を行うとともに、捜査上必要な協力をを行うものとする。
- (2) 受注者は、前項により通報を行った場合には、速やかにその内容を記載した通報書（別記様式第1号）により所轄警察署に届け出るとともに、監督員に報告するものとする。また、受注者は、以上のことについて、下請負人（再委託の協力者を含む。）に対して、十分に指導を行うものとする。
- (3) 受注者は、暴力団員等による不当介入を受けたことが明らかになり、工程等に被害が生じた場合は、監督員と協議するものとする。

## 20 市内下請業者及び市内材料調達の促進について

長く景気低迷により、公共投資が大幅に減少する中、建設業界の厳しい経営環境に鑑み、地域経済の活性化と地元業者の育成を目的として、東近江市発注の建設工事等における下請業者及び建設用資材の調達については、以下の点について、協力をいただきたい。

- (1) 発注者発注の建設工事等の施工に当たり下請契約をする場合は、できる限り東近江市に本店を有する業者へ発注するよう努めること。  
その場合、適正な価格で請け負わせ、下請代金は適正な期間内に支払うことなど、下請契約及び下請代金支払の適正化に努めること。
- (2) 工事施工に必要な建設用資材や建設機械の購入又は借入れする場合は、極力地元調達されるなど、施工に当たって配慮すること。

## 21 保険の付保及び事故の補償

### （建設業退職金共済制度）

工事必携記載の指導事項の4によるものほか、以下によるものとする。

- (1) 受注者は、工事請負代金額が100万円以上の場合は、建設業退職金共済組合（以下「建退共」という。）の発注者用掛金収納書を監督員に提出し確認を受けること。
- (2) 建退共証紙の購入量については、契約額（消費税額及び地方消費税額を含む。）に応じた量とする。ただし、受注者が必要な数量を算出した場合は、その数量とすることができます。この場合、数量を算出した積算書類を掛金収納書とともに監督員に提出すること。

### （法定外の労災保険の付保）

本工事において、受注者は法定外の労災保険に付さなければならない。

#### 22 再生資材の利用

埋戻し等の土工に使用する碎石は再生資材を利用するものとし、コンクリート碎石100パーセントを標準とする。

#### 23 その他

工事の実施に際し、本工事が原因として発生すると想定される事態に対しては、関係者と調整し、誠意をもってその解決に当たることとし、その他疑義が生じた場合は、監督員と協議し、承認を得た上で作業を進めること。

#### 24 試掘

工事の実施に際し、既設管（ダクトイル鉄管 K形  $\phi$  500）の埋設位置を事前に調査すること。

## 別記様式第1号（第1条関係）

年 月 日

## 不当介入（不当要求・業務妨害）事案通知書

滋賀県 東近江 警察署長様  
東近江 市長様通報者

※取扱署等 滋賀県 警察署 課

受注者	所在地	(本社)	電話 ( ) -
		(現場事務所)	FAX ( ) -
	名称	電話 ( ) -	
		FAX ( ) -	
	代表者	(現場事務所の代表者)	
		(通報者の職・氏名)	電話 ( ) -
通報者等	(対応者)		
	所属会社名	電話 ( ) -	
	氏名		
	役職		
不当介入の行為者	住所	電話 ( ) -	
		FAX ( ) -	
	所属		
	役職		
	氏名		
発生日時	年 月 日、 時 分 ころ		
	〔元請・下請〕(下請の場合は、現場事務所の所在地)		
場所		電話 ( ) -	
		FAX ( ) -	
工事件名			
不当介入の内容・被害状況			
警察への通報状況	(警察への通報)	有	無
	(通報先警察署)	滋賀県	警察署
	(通報日時)	年 月 日、	時

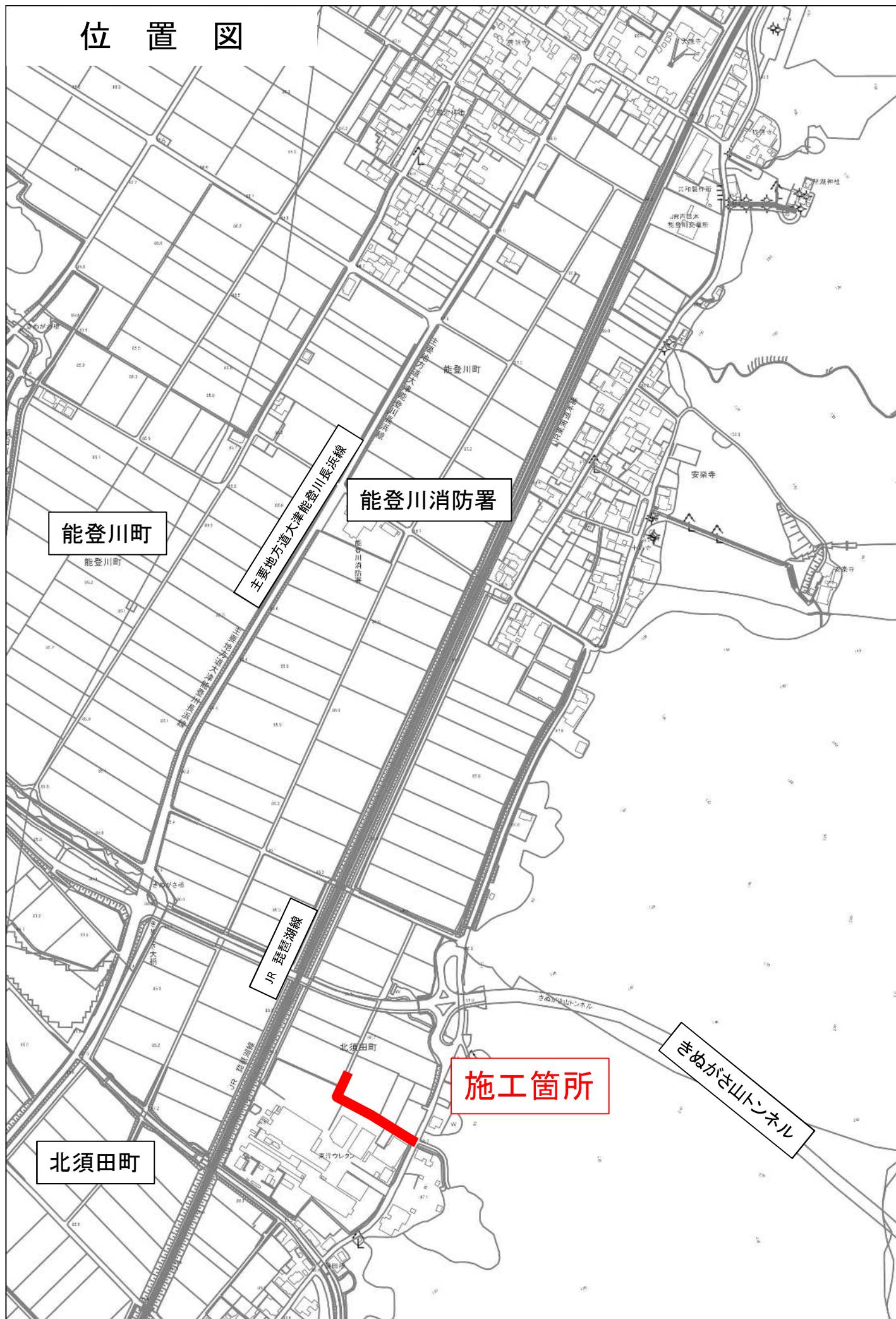
注1 第一報は、この様式に必要事項を記入した上、東近江警察署刑事第二課あて電話で行った後、その旨を「警察への通報の状況」の欄に記入して発注者及び東近江警察署あて送付(電子メール・FAX可)すること。

2 不当介入の行為者の名刺、提示物等の参考資料がある場合は、その写しを添付すること。

3 下請負先(再委託先)において発生した場合であっても、必ず元請負人(受注者)が聞き取り調査をして記入し、通報すること。

4 ※の欄は、警察署において記入すること。

# 位置図



## 【参考資料】積算条件明示書

入札契約過程における透明性及び公平性を確保するため、参考までに積算条件を示すものであり、契約の履行を拘束するものではない。

従って、施工方法その他工事目的物を完成するために必要な一切の手段については、受注者がその責任において定めるものとする。

工事番号 令和7年度 第98号

工事名 能登川地区配水管バイパス（5工区）工事

施工位置 東近江市北須田町地先

### 適用基準日等

単価適用基準 : 令和7年4月1日  
歩掛適用基準 : 令和7年4月1日  
諸経費適用基準 : 令和7年4月1日

### 休日指定区分

なし

### 諸経費

主たる工種

開削工事及び小口径推進工事

施工地域補正

一般交通影響有り②

前払金支出割合

補正なし

契約保証補正

発注者が金銭的保証を必要とする場合

### 見積によって決定した建設副産物受入価格一覧

名称	規格	単位	単価
殻処分費	As殻（掘削）	m <sup>3</sup>	1,880
残土処分費	残土	m <sup>3</sup>	1,800
汚泥処分費	建設汚泥	m <sup>3</sup>	5,500

市 長	副 市 長	副 市 長	部 長	理 事	管 理 監	課 長 補 佐	係 長	改 算 者	設 計 者
--------	-------------	-------------	--------	--------	-------------	------------------	--------	-------------	-------------

令和 7 年 4 月 設計

## 能登川地区配水管バイパス（5工区）工事 実施設計書

令和 7 年度

施工箇所 東近江市 北須田町 地先

工事価格	円
消費税及び	
円	地方消費税相当額
¥	円

### 設 計 概 要

#### 本設配水管

DCIP-NS $\phi$ 500	(当初)
不斷水分岐 $\phi$ 500 × $\phi$ 500	L= 130.7 m
	N= 1.0 箇所

工事費内訳書（全体）

名 称	形状寸法	単位	数量	当 初	変 更 後	備 考
				金 額	金 額	
本設		式	1.0			
直接工事費計						
	共通仮設費（率）	式	1.0			
	運搬費（積上）	式	1.0			
	當繕損料（積上）	〃	—			
	安全費（積上）	〃	—			
共通仮設費計						
純工事費計						
	現場管理費	式	1.0			
工事原価計						
	一般管理費等	式	1.0			
本工事費計						
消費税相当額		式	1.0			
合計						



## 積上げ運搬費計算書

( 当 初 )

# 内訳書











本 設 (労務)		付帯工						備 考
名 称	形状、寸法	単位	当 初			変 更		
			数量	単価	金額	数量	単価	金額
舗装版切断工	アスファルト舗装版 t=15cm以下	m	309.0					
舗装版破碎工	BH0.28 t=10cm以下	m2	160.0					
殻処分(As殻)	BH0.45 10tDT 運搬距離L=14km	m3	8.0					
管路掘削工	BH0.28 床均し含む	m3	222.4					
人力掘削工	積込含む	m3	13.3					
残土処分	BH0.45 10tDT 運搬距離L=6.4km	m3	215.0					
埋戻工	碎砂 BH0.28投入 人力転圧	m3	13.9					
埋戻工	RC-30 BH0.28投入 人力転圧	m3	71.0					
埋戻工	RC-30 BH0.28投入 タンバ 転圧	m3	69.0					
埋戻工	在来土 BH0.28投入 人力転圧	m3	2.4					
埋戻工	在来土 BH0.28投入 タンバ 転圧	m3	9.0					
下層路盤	RC-30 t=15cm 1層施工	m2	133.0					
下層路盤	RC-30 t=30cm 2層施工	m2	15.0					
上層路盤	M-30 t=12cm 1層施工	m2	148.0					
舗装仮復旧工	再生密粒度As(13) 人力・t=3cm	m2	160.0					
舗装版切断排水処理工	t=15cm以下	m	309.0					
舗装版切断排水処理工	汚水処分工	m3	1.7					
舗装版切断排水処理工	運搬距離L=25km 汚水運搬	回	1.0					
交通誘導員B		人	14.0					
管路土留工	軽量鋼矢板 掘削深2.0m以下	m	19.0					
管路土留工	軽量鋼矢板 掘削深2.5m以下	m	7.6					
軽量鋼矢板貯料		式	1.0					
廃材運搬	運搬距離L=10km	回	1.0					
廃材処分(スクラップ) ヘビ-1	DCIP-NS φ500 DCIP-NS φ150	t	1.1					
計								
合 計								

# 數量計算書

本 設 (材料)		DCIP-NS $\phi 500$				
名 称	形 状、寸 法	単 位	当 初		変 更	
			計 算 式	数 量	計 算 式	数 量
内面エポキシ粉体塗装 ダクトイル鋳鉄管	NS形1種 $\phi 500 \times 6.0$	本	18.0	切 + 4.0	22.0	
NS形 45° 曲管	内面粉体塗装 $\phi 500$	個	4.0		4.0	
NS形 11 1/4° 曲管	内面粉体塗装 $\phi 500$	個	3.0		3.0	
NS形 F付T字管	内面粉体塗装 $\phi 500 \times \phi 75$ GF 7.5K	個	1.0		1.0	
NS形 排水丁字管	内面粉体塗装 $\phi 500 \times \phi 200$	個	1.0		1.0	
NS形 継ぎ輪	内面粉体塗装 $\phi 500$	個	1.0		1.0	
特殊割押輪	NS形 $\phi 500$	組	2.0		2.0	
NS形 短管1号	内面粉体塗装 $\phi 500$	個	1.0		1.0	
フランジ形 ソフトシール仕切弁	$\phi 500$	個	1.0		1.0	
LSPフランジ付属品	フランジ ハッキン・ボルトナット $\phi 500$ 7.5K RF-GF兼用	組	2.0		2.0	
フランジ補強金具	3DkN	個	2.0		2.0	
NS形 ライナー	内外面粉体塗装 $\phi 500$ ライ用芯出しゴム含む	組	8.0		8.0	
NS形 挿しローリング	$\phi 500$ リハーツト含む	組	7.0		7.0	
特殊割押輪	K形 $\phi 500$	組	2.0		2.0	
埋設表示シート	材工共 折りたたみ式 150×150	m	131.20		131.2	
管路巻付テープ	材工共 W=50	m	131.20		131.2	
不断水割丁字管	7.5K-RF $\phi 500 \times \phi 500$	個	1.0		1.0	
レジコン製 仕切弁BOX	円形2号 鉄蓋・栓・ボルト等含む	個	1.0		1.0	
レジコン製 仕切弁BOX	円形2号 調整リング t=50	個	1.0		1.0	
レジコン製 仕切弁BOX	円形2号 上部壁 H=150	個	1.0		1.0	
レジコン製 仕切弁BOX	円形2号 中部壁 H=200	個	2.0		2.0	
レジコン製 仕切弁BOX	円形2号 下部壁 H=300	個	1.0		1.0	
レジコン製 仕切弁BOX	円形2号 スラブ40形	個	1.0		1.0	









本 設 (労務)		付帯工				
名 称	形 状、寸 法	単位	当 初		変 更	
			計 算 式	数 量	計 算 式	数 量
舗装版切断工	アスファルト舗装版 t=15cm以下	m	本設 不断水 試掘(3箇所) 270.0 + 15.0 + 24.0	309.0		
舗装版破碎工	BH0. 28 t=10cm以下	m2	140.0 + 8.0 + 12.0	160.0		
殻処分(As殻)	BH0. 45 10tDT 運搬距離L=14km	m3	7.0 + 0.4 + 0.6	8.0		
管路掘削工	BH0. 28 床均し含む	m3	200.0 + 11.0 + 11.4	222.4		
人力掘削工	積込含む	m3	4.0 + 9.3	13.3		
残土処分	BH0. 45 10tDT 運搬距離L=6.4km	m3	200.0 + 15.0	215.0		
埋戻工	碎砂 BH0. 28投入 人力転圧	m3	0.7 + 3.9 + 9.3	13.9		
埋戻工	RC-30 BH0. 28投入 人力転圧	m3	70.0 + 1.0	71.0		
埋戻工	RC-30 BH0. 28投入 タン <sup>ハ</sup> 転圧	m3	60.0 + 9.0	69.0		
埋戻工	在来土 BH0. 28投入 人力転圧	m3	2.4	2.4		
埋戻工	在来土 BH0. 28投入 タン <sup>ハ</sup> 転圧	m3	9.0	9.0		
下層路盤	RC-30 t=15cm 1層施工	m2	133.0	133.0		
下層路盤	RC-30 t=30cm 2層施工	m2	7.0 + 8.0	15.0		
上層路盤	M-30 t=12cm 1層施工	m2	140.0 + 8.0	148.0		
舗装仮復旧工	再生密粒度As(13) 人力・t=3cm	m2	140.0 + 8.0 + 12.0	160.0		
舗装版切断排水処理工	t=15cm以下	m	309.0	309.0		
舗装版切断排水処理工	汚水処分工	m3	309.0 * 0.55 / 100	1.7		
舗装版切断排水処理工	運搬距離L=25km 汚水運搬	回	1.0	1.0		
交通誘導員B		人	14.0	14.0		
管路土留工	軽量鋼矢板 掘削深2.0m以下	m	7.0 12.0	19.0		
管路土留工	軽量鋼矢板 掘削深2.5m以下	m	7.6	7.6		
軽量鋼矢板貢料		式	1.0	1.0		
廃材運搬	運搬距離L=10km	回	1.0	1.0		
廃材処分(スクラップ) ヘビ-1	DCIP-NS φ 500 DCIP-NS φ 150	t	0.09919t/m * 10.6m 0.02721t/m * 3.0m	1.051 0.082	1.1	

# 土工集計表

土工集計表 (本設・合計)

番号	管外径	掘削延長	施工箇所	掘削深	掘削幅	舗装取壟し		舗装分				管路掘削工		舗装仮復旧		路盤工						埋戻工				土留工			番号	
						舗装切断	C取壟し	舗装版破碎	無筋	As			土砂		無筋	As	上層路盤		下層路盤		防護砂	碎石埋戻		在来土埋戻		発生土処分	1.51	2.01	2.51	
									Co																					
									t=10cm	t=3cm	t=5cm	t=10cm	機械	人力	t=10cm	t=3cm	t=12cm	t=17cm	t=15cm	t=30cm	人力	機械	人力	機械	人力	機械	1.51	2.01	2.51	
									L	V	A	V	V	V	V	V	A	A	A	A	V	V	V	V	V	V	L	L	L	
									m	m	m	m	m3	m2	m3	m3	m3	m3	m2	m2	m2	m3	m3	m3	m3	m3	m3	m	m	m
A - 1	0.530	124.20	As (t=5cm)	1.480	1.05	248.40		130.410			6.521		186.486			130.410	130.410	130.410			67.801	58.685			186.486				A - 1	
A - 2	0.530	7.00	As (t=5cm)	1.730	1.10	14.00		7.700			0.385		12.936			7.700	7.700	7.700		7.700	4.077	4.235			12.936	7.00			A - 2	
D - 1	0.170	2.00	As (t=5cm)	1.120	0.60	4.00		1.200			0.060		1.284			1.200	1.200	1.200		1.200	0.399	0.540			1.284				D - 1	
D - 2	0.170	2.80	As (t=5cm)	1.220	0.60	5.60		1.680			0.084		1.966			1.680	1.680	1.680		1.680	0.726	0.336	0.420		1.966				D - 2	
本設合計						272.00		140.990			7.050		202.672			140.990	140.990	133.290	7.700	0.726	72.612	63.880			202.672	7.00			本設合計	
仮設合計																														仮設合計
全体合計						272.00		140.990			7.050		202.672			140.990	140.990	133.290	7.700	0.726	72.612	63.880			202.672	7.00			全体合計	

# 土工数量計算書

# 土工計算書

φ 500mm

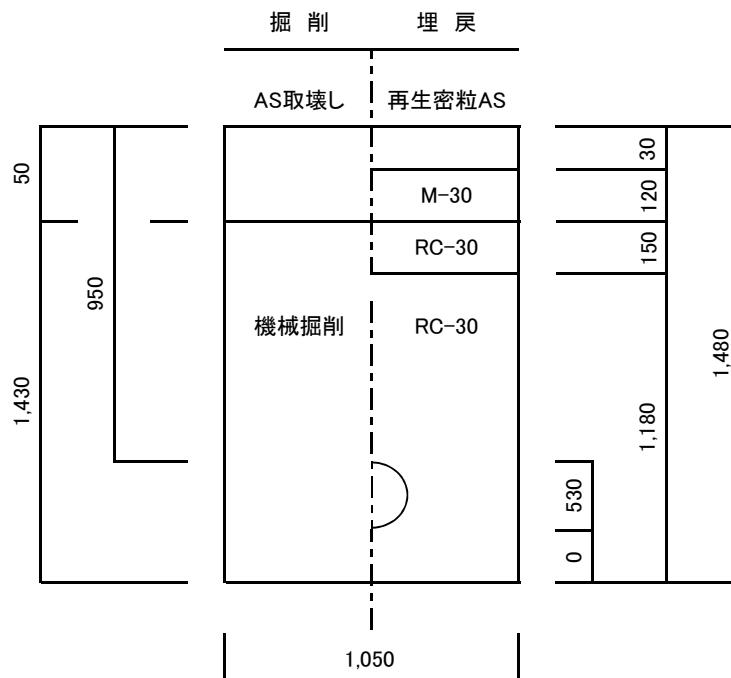
第A-1号土工

【市道・車道部】

第A-1号

市道・車道

DCIP-NS φ 500 H=0.95m As



10m当り

管断面積  $(\pi * D^2)/4 = 0.2205$

名称	形状	算式	数量
舗装切断工	アスファルト版 t=15cm以下	2.00 * 10.00	= 20.00 m
舗装版破碎工	BH0.28 t=10cm以下	1.05 * 10.00	= 10.50 m <sup>2</sup>
舗装殻処分	BH0.45 10tDTL=14km	1.05 * 0.05 * 10.00	= 0.53 m <sup>3</sup>
掘削工	BH0.28 床均し含む	1.05 * 1.43 * 10.00	= 15.02 m <sup>3</sup>
埋戻工	再生碎石 BH0.28投入人力転圧	(1.05 * 0.73 - 0.221) * 10.00	= 5.46 m <sup>3</sup>
埋戻工	再生碎石 BH0.28投入シバ転圧	1.05 * 0.45 * 10.00	= 4.73 m <sup>3</sup>
残土処分	BH0.45 10tDTL=6.4km	15.02	= 15.02 m <sup>3</sup>
下層路盤工	再生碎石 t=15cm	1.05 * 10.00	= 10.50 m <sup>2</sup>
上層路盤工	粒度調整碎石 t=12cm	1.05 * 10.00	= 10.50 m <sup>2</sup>
舗装仮復旧工	再生密粒度AC(13) 人力・t=3.0cm	1.05 * 10.00	= 10.50 m <sup>2</sup>

# 土工計算書

φ 500mm

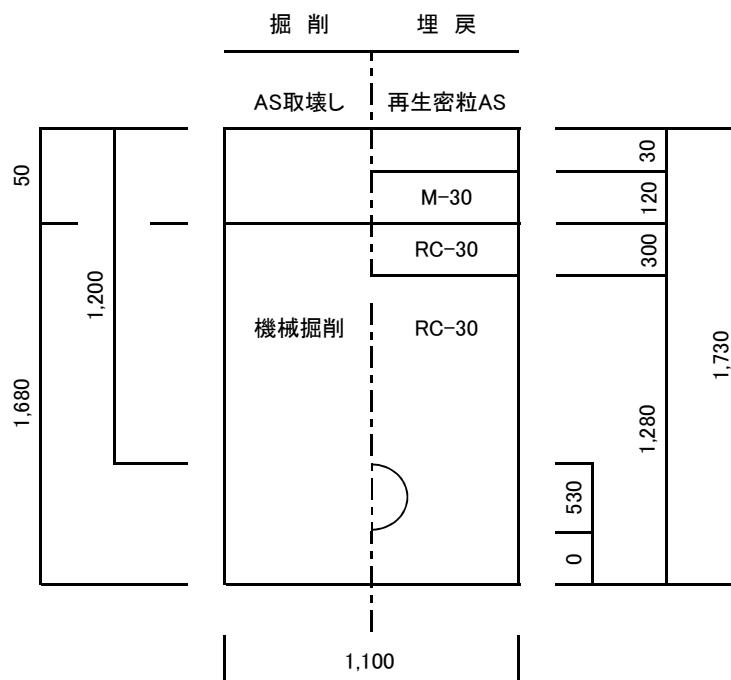
第A-2号土工

【市道・車道部】

第A-2号

市道・車道

DCIP-NS φ 500 H=1.20m As



10m当り

管断面積  $(\pi * D^2)/4 = 0.2205$

名称	形状	算式	数量
舗装切断工	アスファルト版 t=15cm以下	2.00 * 10.00	= 20.00 m
舗装版破碎工	BH0.28 t=10cm以下	1.10 * 10.00	= 11.00 m <sup>2</sup>
舗装殻処分	BH0.45 10tDTL=14km	1.10 * 0.05 * 10.00	= 0.55 m <sup>3</sup>
掘削工	BH0.28 床均し含む	1.10 * 1.68 * 10.00	= 18.48 m <sup>3</sup>
埋戻工	再生碎石 BH0.28投入人力転圧	(1.10 * 0.73 - 0.221) * 10.00	= 5.82 m <sup>3</sup>
埋戻工	再生碎石 BH0.28投入シバ転圧	1.10 * 0.55 * 10.00	= 6.05 m <sup>3</sup>
残土処分	BH0.45 10tDTL=6.4km	18.48	= 18.48 m <sup>3</sup>
下層路盤工	再生碎石 t=30cm	1.10 * 10.00	= 11.00 m <sup>2</sup>
上層路盤工	粒度調整碎石 t=12cm	1.10 * 10.00	= 11.00 m <sup>2</sup>
舗装仮復旧工	再生密粒度AC(13) 人力・t=3.0cm	1.10 * 10.00	= 11.00 m <sup>2</sup>

第C-1号土工 不斷水分岐土工  $\phi 500 \times \phi 500$  H=1.20m

名 称	算 式	数 量
(掘削部m当り)		
舗装切断工	《 As t=15cm以下 》 2.00 + ( 2.03 + 3.60 + 0.40 ) × 2 + 1.20	15.26 m
舗装版取壊工	2.00 × 2.03 + 3.60 × 1.20	8.38 m <sup>2</sup>
殻処分工	《 As殻 t=10cm以下 》 8.38 × 0.05	0.42 m <sup>2</sup>
掘削工(人力)	V 2.00 × 2.03 × 1.13 - 1/4 × π × 0.53 <sup>2</sup> × 2.00	4.15 m <sup>3</sup>
掘削工(機械)	V1 2.00 × 2.03 × ( 1.00 - 0.05 ) = 3.857 m <sup>3</sup> V2 3.60 × 1.20 × ( 1.865 - 0.05 ) = 7.841 m <sup>3</sup> V 3.857 + 7.841	11.70 m <sup>3</sup>
残土処分工	《 土砂 》 V 4.150 + 11.700	15.85 m <sup>3</sup>
埋 戻 工 (人力転圧)	《 RC-30 》 2.00 × 2.03 × 0.20	0.81 m <sup>3</sup>
埋 戻 工 (機械転圧)	《 RC-30 》 2.00 × 2.03 × 0.35 + 3.60 × 1.20 × ( 1.865 - 0.03 )	9.35 m <sup>3</sup>
埋 戻 工 (人力転圧)	《 碎砂 》 2.00 × 2.03 × 1.13 - 1/4 × π × 0.53 <sup>2</sup> × 2.00 - 1/4 × π × 0.53 <sup>2</sup> × 0.97	3.93 m <sup>3</sup>
下層路盤 t = 30 cm	2.00 × 2.03 + 3.60 × 1.20	8.38 m <sup>2</sup>
上層路盤 t = 12 cm	2.00 × 2.03 + 3.60 × 1.20	8.38 m <sup>2</sup>
仮復旧工	2.00 × 2.03 + 3.60 × 1.20	8.38 m <sup>2</sup>
矢板工	《 矢板長 2.5m 支保工 2段 》 2.00 + ( 2.03 + 3.60 + 0.40 ) × 2 + 1.20	15.26 m

D 0.530

W1 2.000

W2 2.030

W3 3.600

W4 1.200

W5 0.400

H 1.200

h 2.130

h1 1.000

h2 1.130

h3 0.550

h4 0.865

h5 1.865

C 0.400

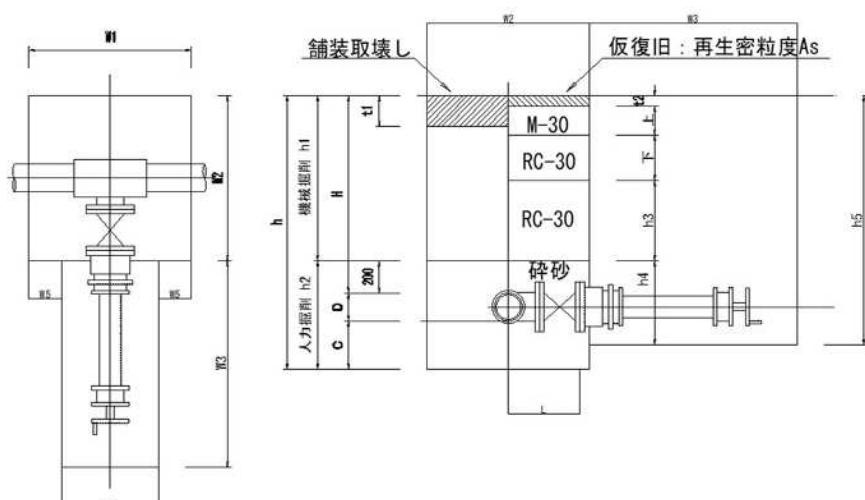
t1 0.050

t2 0.030

L 0.970

上 0.120

下 0.300



# 土工計算書

φ 500mm

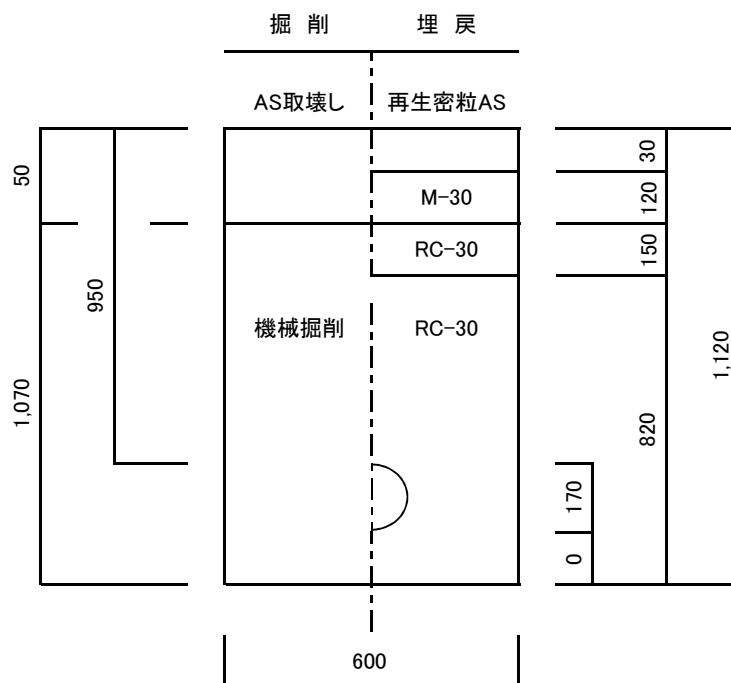
第D-1号土工

【市道・車道部】

第D-1号土工

市道・車道

DCIP-NS φ 150 H=0.95m As



10m当り

管断面積  $(\pi * D^2)/4 = 0.0227$

名称	形状	算式	数量
舗装切断工	アスファルト版 t=15cm以下	2.00 * 10.00	= 20.00 m
舗装版破碎工	BH0.28 t=10cm以下	0.60 * 10.00	= 6.00 m <sup>2</sup>
舗装殻処分	BH0.45 10tDTL=14km	0.60 * 0.05 * 10.00	= 0.30 m <sup>3</sup>
掘削工	BH0.28 床均し含む	0.60 * 1.07 * 10.00	= 6.42 m <sup>3</sup>
埋戻工	再生碎石 BH0.28投入人力転圧	(0.60 * 0.37 - 0.023) * 10.00	= 1.99 m <sup>3</sup>
埋戻工	再生碎石 BH0.28投入シバ転圧	0.60 * 0.45 * 10.00	= 2.70 m <sup>3</sup>
残土処分	BH0.45 10tDTL=6.4km	6.42	= 6.42 m <sup>3</sup>
下層路盤工	再生碎石 t=15cm	0.60 * 10.00	= 6.00 m <sup>2</sup>
上層路盤工	粒度調整碎石 t=12cm	0.60 * 10.00	= 6.00 m <sup>2</sup>
舗装仮復旧工	再生密粒度AC(13) 人力・t=3.0cm	0.60 * 10.00	= 6.00 m <sup>2</sup>

# 土工計算書

φ 500mm

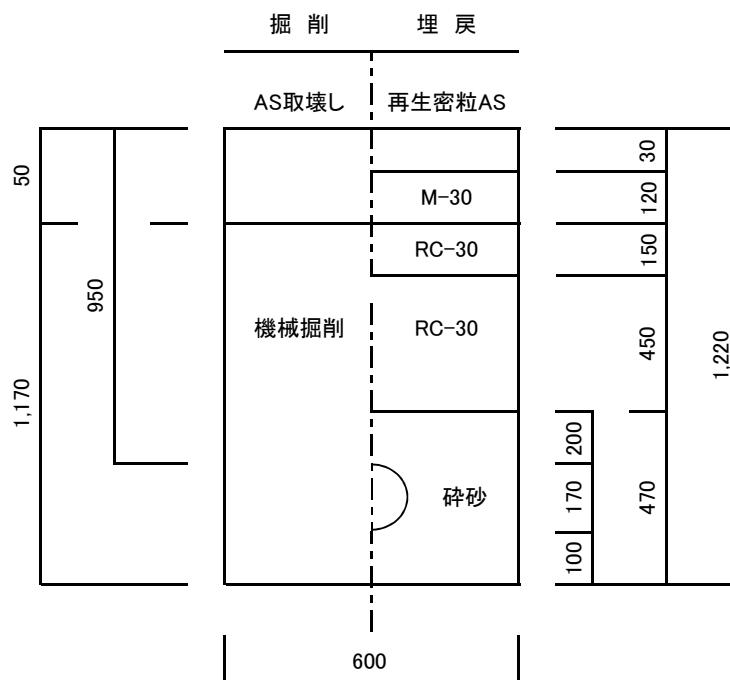
第D-2号土工

【市道・車道部】

第D-2号土工

市道・車道

HIVP φ 150 H=0.95m As



10m当り

管断面積  $(\pi * D^2)/4 = 0.0227$

名称	形状	算式	数量
舗装切断工	アスファルト版 t=15cm以下	2.00 * 10.00	= 20.00 m
舗装版破碎工	BH0.28 t=10cm以下	0.60 * 10.00	= 6.00 m <sup>2</sup>
舗装殻処分	BH0.45 10tDTL=14km	0.60 * 0.05 * 10.00	= 0.30 m <sup>3</sup>
掘削工	BH0.28 床均し含む	0.60 * 1.17 * 10.00	= 7.02 m <sup>3</sup>
管防護砂	碎砂 BH0.28投入人力転圧	(0.60 * 0.47 - 0.023) * 10.00	= 2.59 m <sup>3</sup>
埋戻工	再生碎石 BH0.28投入人力転圧	0.60 * 0.20 * 10.00	= 1.20 m <sup>3</sup>
埋戻工	再生碎石 BH0.28投入シバ転圧	0.60 * 0.25 * 10.00	= 1.50 m <sup>3</sup>
残土処分	BH0.45 10tDTL=6.4km	7.02	= 7.02 m <sup>3</sup>
下層路盤工	再生碎石 t=15cm	0.60 * 10.00	= 6.00 m <sup>2</sup>
上層路盤工	粒度調整碎石 t=12cm	0.60 * 10.00	= 6.00 m <sup>2</sup>
舗装仮復旧工	再生密粒度AC(13) 人力・t=3.0cm	0.60 * 10.00	= 6.00 m <sup>2</sup>

# 土工計算書

φ 500mm

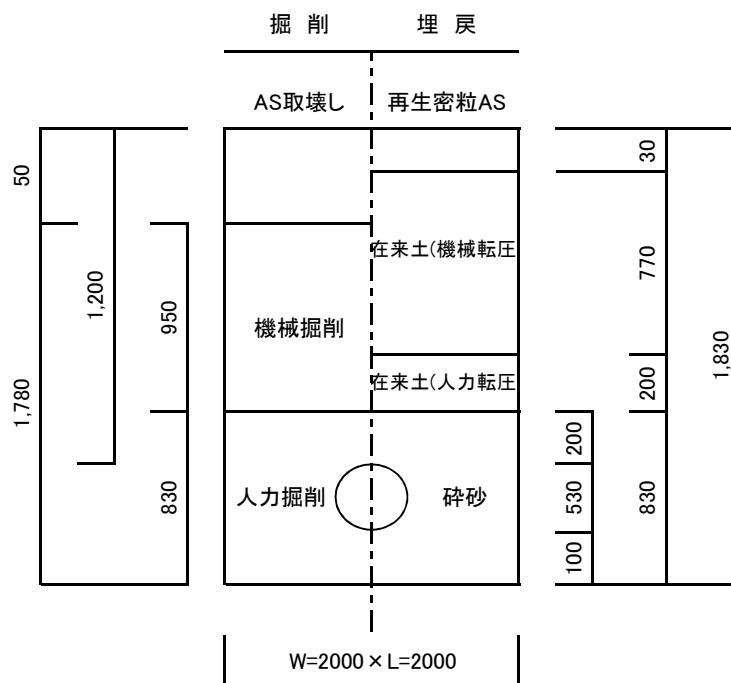
第E-1号土工(試掘)

【市道・車道部】

第E-1号土工(試掘)

市道・車道

DCIP-K φ 500 H=1.20m As



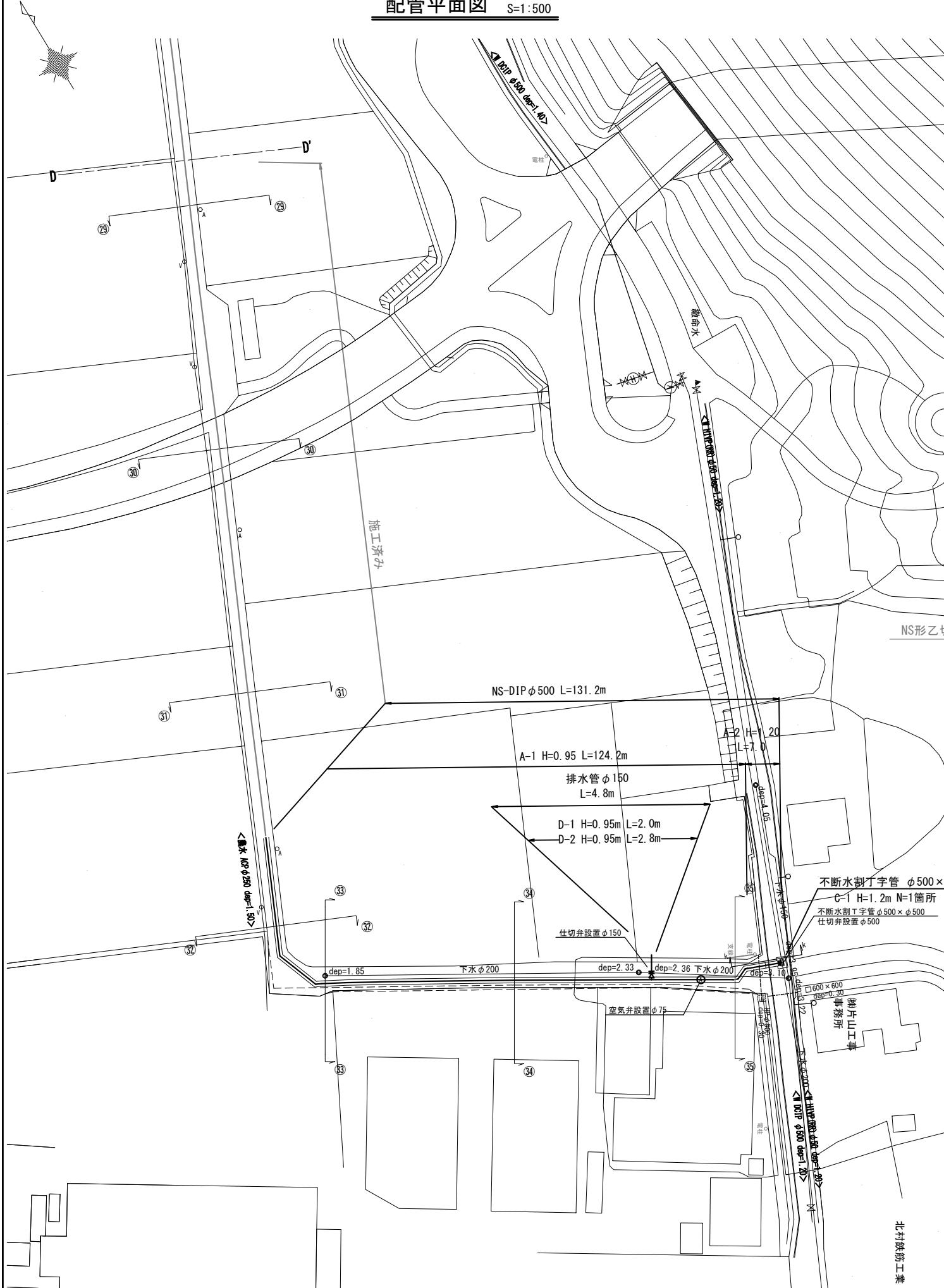
1箇所当たり

管断面積  $(\pi * D^2)/4 = 0.2205$

名称	形状	算式	数量
舗装切断工	アスファルト版 t=15cm以下	2.00 + 2.00 + 2.00 + 2.00	= 8.00 m
舗装版破碎工	BH0.28 t=10cm以下	2.00 * 2.00	= 4.00 m <sup>2</sup>
舗装殻処分	BH0.45 10tDTL=14km	4.00 * 0.05	= 0.20 m <sup>3</sup>
掘削工	BH0.28 床均し含む	4.00 * 0.95	= 3.80 m <sup>3</sup>
掘削工	人力 積込含む	4.00 * 0.83 - 0.221	= 3.10 m <sup>3</sup>
管防護砂	碎砂 BH0.28投入人力転圧	4.00 * 0.83 - 0.221	= 3.10 m <sup>3</sup>
埋戻工	在来土 BH0.28投入人力転圧	4.00 * 0.20	= 0.80 m <sup>3</sup>
埋戻工	在来土 BH0.28投入タシバ転圧	4.00 * 0.77	= 3.08 m <sup>3</sup>
舗装仮復旧工	再生密粒度AC(13) 人力・t=3.0cm	2.00 * 2.00	= 4.00 m <sup>2</sup>

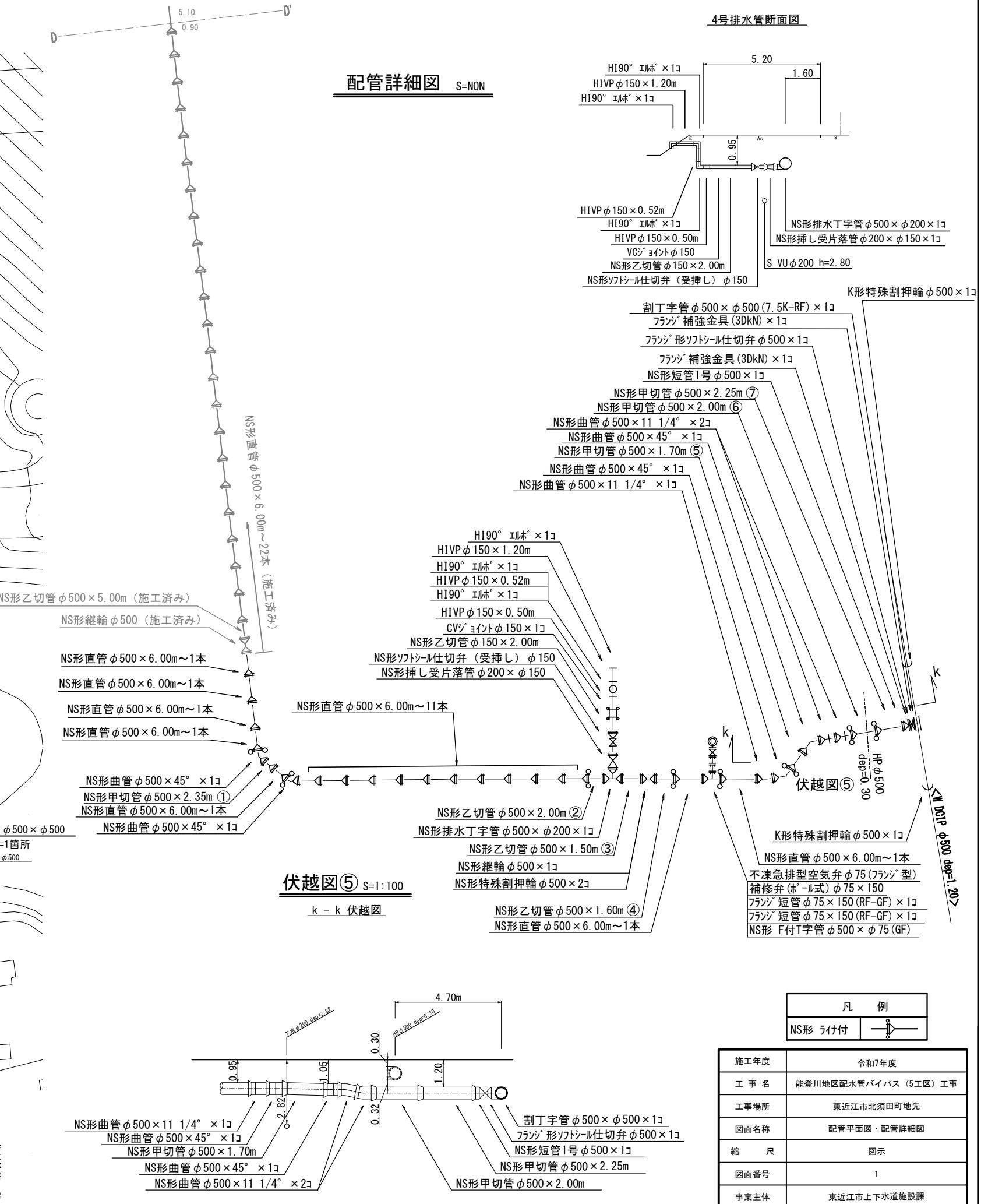
## 配管平面図 S=1:500

S=1:50



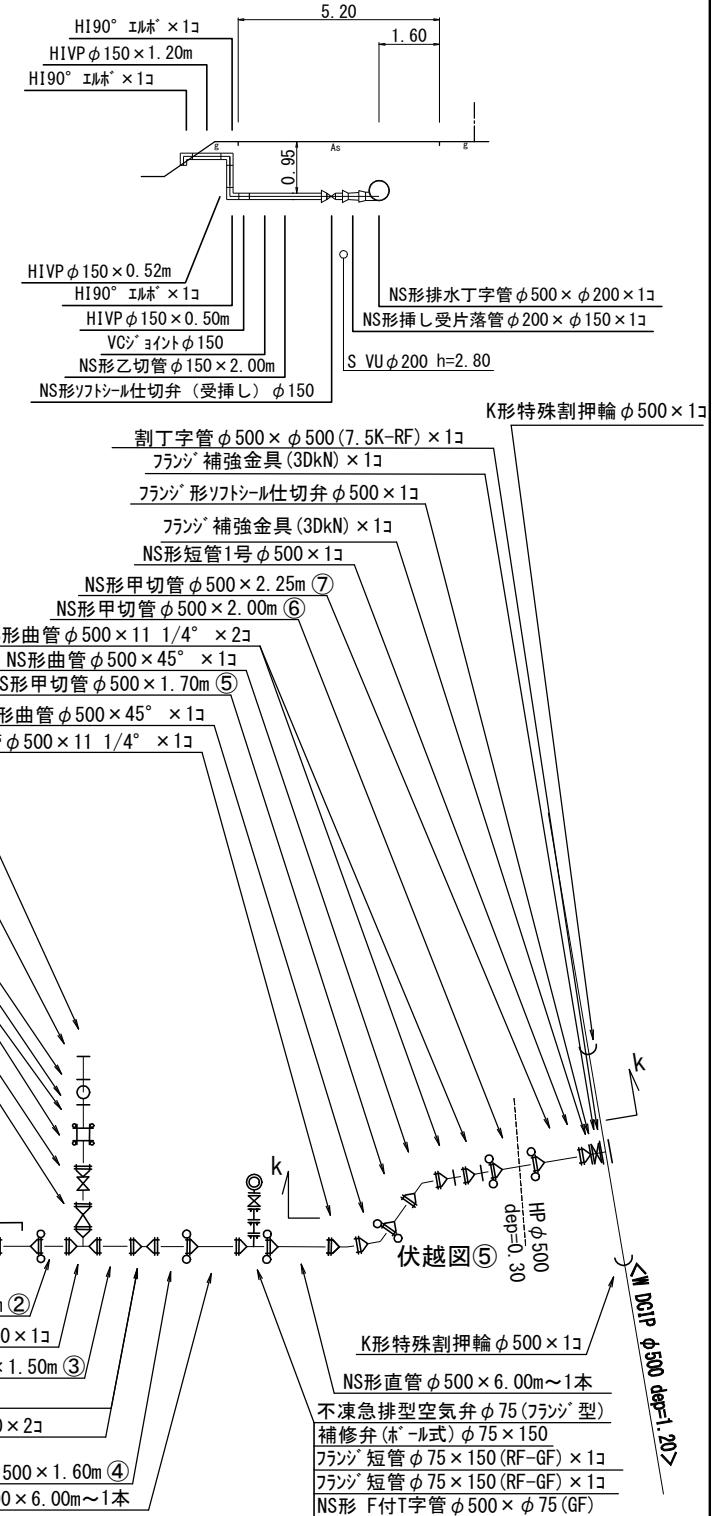
配管詳細図 S=NO

## 配官詳紹図 S=NO



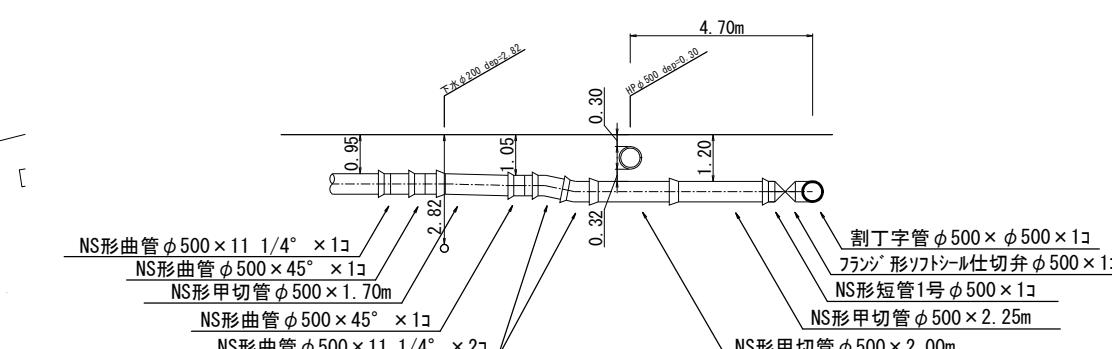
### 4号排水管断面図

## 4号排水管断面図



## 伏越図⑤ $s=1$ :

k = k 伏越圖



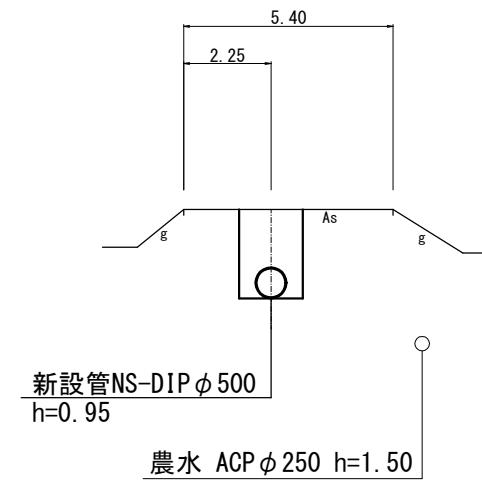
凡 例

NSPIRE /+/+/-

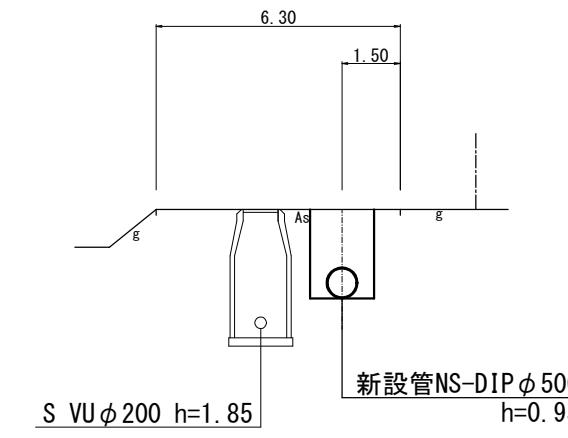
施工年度	令和7年度
工事名	能登川地区配水管バイパス（5工区）工事
工事場所	東近江市北須田町地先
図面名称	配管平面図・配管詳細図
縮尺	図示
図面番号	1
事業主体	東近江市上下水道施設課
施工業者名	

断面図 S=1:100

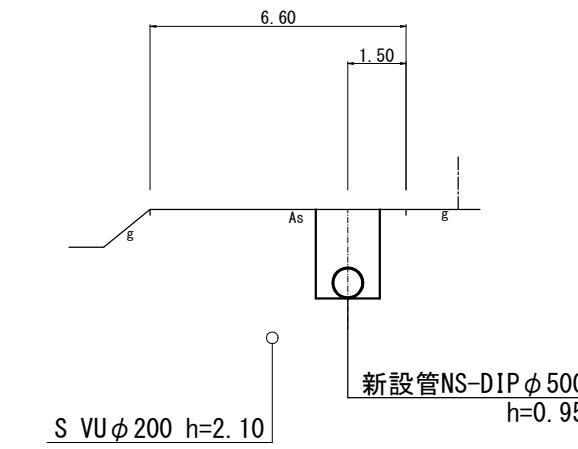
(32)断面図



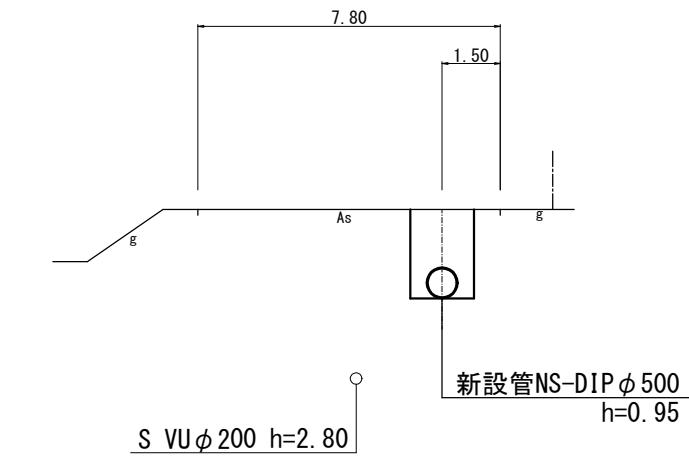
(33)断面図



(34)断面図



(35)断面図

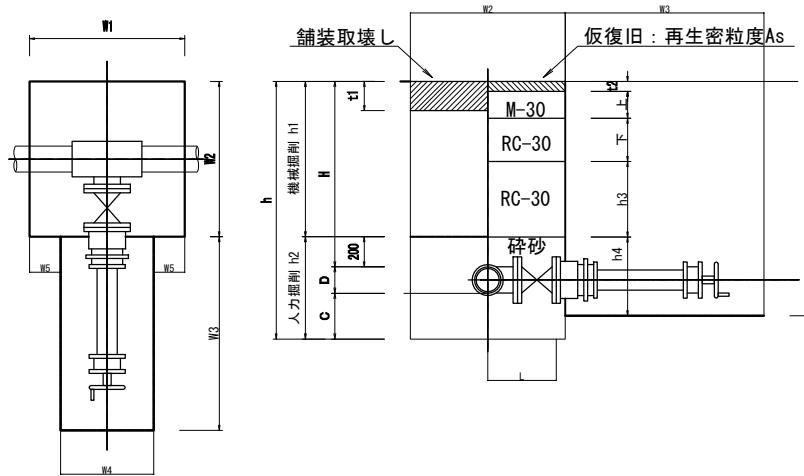


施工年度	令和7年度
工事名	能登川地区配水管バイパス（5工区）工事
工事場所	東近江市北須田町地先
図面名称	断面図
縮尺	図示
図面番号	2
事業主体	東近江市上下水道施設課
施工業者名	

土工標準図 S=1:20

S=1:20

## 不断水分岐土工

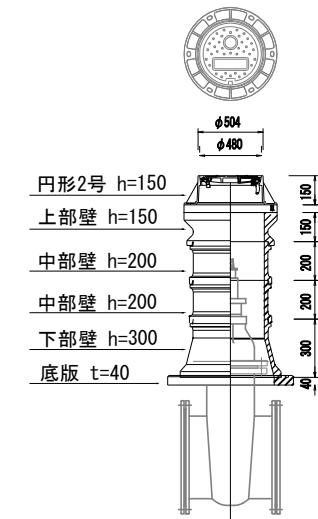


1カ所当り	
番号	C-1
道路	市道
管種	DCIP
管径	φ500×φ500
D	530
W1	2,000
W2	2,030
W3	3,600
W4	1,200
W5	400
H	1,200
h	2,130
h1	1,000
h2	1,130
h3	550
h4	865
h5	1,865
C	400
t1	50
t2	30
L	970
上	120
下	300

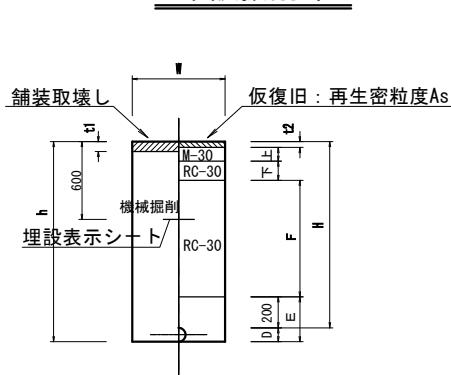
## 仕切弁室標準図 S=1:20

S=1:20

### 仕切弁室 (φ 500)

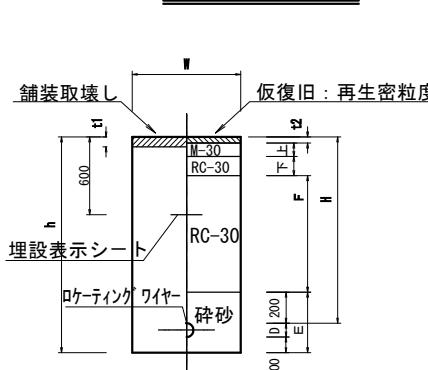


## 本設掘削部



1m当量			
番号	A-1	A-2	D-1
管種	DCIP	DCIP	DCIP
管径	φ500	φ500	φ150
D	530	530	170
W	1,050	1,100	600
H	950	1,200	950
h	1,480	1,730	1,120
E	730	730	370
F	450	550	450
t1	50	50	50
t2	30	30	30
上	120	120	120
下	150	300	150

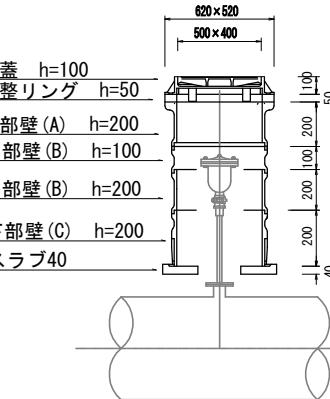
本設掘削部



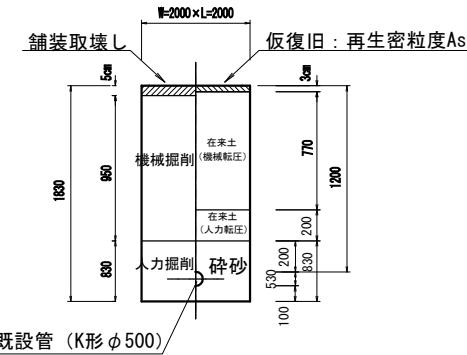
番号	D-2
管種	HIVP
管径	φ150
D	170
W	600
H	950
h	1,220
E	470
F	450
t1	50
t2	30
上	120
下	150

空気弁BOX標準図 S=1:2

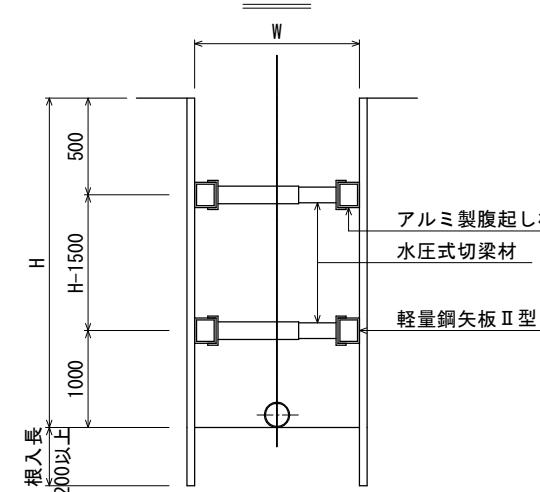
义



## 試掘部



土留二



土留寸法表

掘削深 (m)	矢板長 (m)	支保工
1.50 ~ 1.80	2.00	1段
1.81 ~ 2.00	2.50	1段
2.01 ~ 2.30	"	2段
2.31 ~ 2.80	3.00	2段
2.81 ~ 3.30	3.50	2段
3.31 ~ 3.50	4.00	2段

施工年度	令和7年度
工事名	能登川地区配水管バイパス（5工区）工事
工事場所	東近江市北須田町地先
図面名称	土工標準図・弁室標準図
縮尺	1:20
図面番号	3
事業主体	東近江市上下水道施設課
施工業者名	